

在校生・修了生のメッセージ



在校生 小澤 智 さん

私は救急看護認定看護師として、救急領域での看護実践・指導・相談を軸に活動を行っていました。また、5区分10行為の特定行為研修を修了し、それらの研修での学びを活かし患者さんへの看護介入を行っていました。しかし、臨床にいる実際の患者さんの病態は複雑であり、それまでの知識や技術の範囲におさまらないのが現実でした。

そのような中で、治療と療養、そして生活の視点で総合的に患者さんを捉え、支援のできる看護師になりたいと考えようになりました。そのためには、病態をはじめ、身体所見や検査結果の正しい解釈、治療内容などの医学的知識を獲得する必要があると考え、本大学院への進学を決意しました。

本大学院の講義は木曜から土曜に組まれているので、臨床での実務を続けながら大学院で学ぶことができます。講義で獲得した知識や思考過程などをすぐに臨床で活用することで、知識の確実な定着だけでなく、実践を通して患者さんや組織へ還元をしながら学び続けることが可能です。

まだまだ半人前以下ですが、自身の目指す看護師像と患者さんや組織が求めている人材になれるよう、これから精進していきたいと考えています。



修了生 綿谷 しのぶ さん

私は、不安を抱える患者さんに寄り添う「周術期看護」を目指し、集中治療室と手術室で勤務してきました。その中で疾患に対する知識や、患者さんの「今」に対応できる能力(技術)の重要性を痛感し、特定行為看護師養成分野に進学を決めました。

在学中は、3人の子育てをしながら仕事と勉強をするため大変でしたが、先生方や同期に支えられ楽しく学生生活を送ることが出来ました。

卒業3年目を迎え、診療看護師として患者さんの入院から退院まで、横断的かつ継続的に看護・治療に介入しています。「看護の心」と「医学的知識」を生かし、今までよりも更に患者さんに寄り添えるようになったと感じています。

2025年問題を目前に、医師不足の解決策の一環として、タスクシフティングが推奨されています。全ての人が不安なく平等に在宅・病院医療を受けられ、患者さん中心のタイムリーな医療提供の実現を考えると、診療看護師はその一端を担うことができると感じています。診療看護師独自の役割を見出し、新たな職種として認められるよう、日々精進していきたいと思っています。

★受講キャンパスのご案内

特定行為看護師養成分野は東京赤坂キャンパスのみで開講します。大田原・成田・小田原・熱海・福岡・大川キャンパスでは受講できませんのでご了承ください。

医療福祉学研究科

修士課程

保健医療学専攻

- 看護学分野
- 特定行為看護師養成分野 (旧:ナースプラクティショナー養成分野)
- 助産学分野
- 理学療法学分野
- 作業療法学分野
- 言語聴覚分野
- 視機能療法学分野
- 福祉支援工学分野
- リハビリテーション工学分野
- 放射線・情報科学分野
- 生殖補助医療胚培養分野
- 医療福祉教育・管理分野
- 臨床検査学分野
- 災害医療分野
- 遺伝カウンセリング分野
- 医療機器イノベーション分野
- 医療福祉経営専攻
 - 医療経営管理分野
 - 診療情報アナリスト養成分野
 - 医療福祉国際協力学分野
 - 先進的ケア・ネットワーク開発研究分野
 - 医療福祉工学分野
 - 医療福祉ジャーナリズム分野
 - 医療通訳・国際医療マネジメント分野
- 臨床心理学専攻

博士課程

保健医療学専攻

- 看護学分野
- 助産学分野
- 理学療法学分野
- 作業療法学分野
- 言語聴覚分野
- 視機能療法学分野
- 福祉支援工学分野
- リハビリテーション工学分野
- 放射線・情報科学分野
- 生殖補助医療胚培養分野
- 医療福祉教育・管理分野
- 臨床検査学分野
- 医療遺伝学分野
- 医療福祉経営学分野
- 診療情報管理・分析学分野
- 医療福祉国際協力学分野
- 先進的ケア・ネットワーク開発研究分野
- 医療福祉学分野
- 医療福祉ジャーナリズム分野
- 臨床心理学分野

薬学研究科

博士課程 (4年制)

医療・生命薬学専攻

薬科学研究科

修士課程 (2年制)

生命薬学専攻

- 生命薬学分野
- 医療薬学分野

医学研究科

博士課程

医学専攻

- 基礎医学研究分野
- 臨床医学研究分野
- 社会医学研究分野

修士課程

公衆衛生学専攻

- 国際医療学分野
- 疫学・社会医学分野
- 医療福祉管理学分野
- 予防医学分野

大学院に関するお問い合わせ

東京赤坂キャンパス事務部 Tel: 03-5574-3900 〒107-8402 東京都港区赤坂4-1-26

※修士課程は、専門学校等を卒業された満22歳以上の方も出願可能です(国家資格保持等の条件を満たしている必要があります)。

学生募集要項は次のいずれかの方法でご請求ください

Tel 03-5574-3903 E-mail daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp HP <https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>

国際医療福祉大学

- 大田原キャンパス 保健医療学部(看護学科、理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、視機能療法学科、放射線・情報科学科) / 医療福祉学部(医療福祉学・マネジメント学科) / 薬学部(薬学科・6年制)
- 成田キャンパス 医学部(医学科) / 成田看護学部(看護学科) / 成田保健医療学部(理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、医学検査学科、放射線・情報科学科) / 臨床工学特別専攻科(1年制)
- 東京赤坂キャンパス 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部(心理学科、医療マネジメント学科)
- 小田原キャンパス 小田原保健医療学部(看護学科、理学療法学科、作業療法学科)
- 大川キャンパス 福岡保健医療学部(理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、医学検査学科) / 福岡薬学部(薬学科・6年制)

国際医療福祉大学 附属病院

- 国際医療福祉大学病院(栃木県)
- 国際医療福祉大学塩谷病院(栃木県)
- 国際医療福祉大学成田病院(千葉県)
- 国際医療福祉大学市川病院(千葉県)
- 国際医療福祉大学三田病院(東京都)
- 国際医療福祉大学熱海病院(静岡県)

国際医療福祉大学大学院

INTERNATIONAL UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE GRADUATE SCHOOL

2022 GUIDEBOOK

特定行為看護師養成分野

(旧:ナースプラクティショナー養成分野)

医療福祉学研究科

■ 修士課程 保健医療学専攻



医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。

国際医療福祉大学



ごあいさつ

特定行為看護師養成分野では、厚生労働省特定行為研修に準拠した21区分38行為の特定行為を研修します。さらに、医療面接や身体診察を通して臨床推論を行い、検査・治療のマネジメントが提案できる臨床能力の獲得を目指します。

また、チーム医療の一員として多職種との信頼関係を構築し、プライマリ・クリティカル・周術期領域および、外来、入院、在宅どの場面でも、患者さんのQOL向上のために迅速かつ適切なケアを提供できる診療看護師（NP）の育成を教育の基本としています。

働きながら大学院で学んだ知識を患者さんに活かして自らもスキルアップさせましょう。

分野責任者 **栗田 康生** 准教授

慶應義塾大学医学部卒、博士(医学)、循環器専門医
慶應義塾大学客員准教授
国際医療福祉大学三田病院心臓血管センター
国際医療福祉大学医学部医学教育統括センター

Admission Policy

患者のQOL向上のために自らの臨床実践能力を高めることを志す

Diploma Policy

1 実践的身体診察の能力

ジェネラリストとしての能力に医学教育を付与することで対象者を診察する能力を高める

2 情報を判断する能力

対象者の状況を把握するために必要な画像診断・血液化学等の検査を選定し、得られた情報を解釈し判断する能力を身につける

3 適切な薬剤を選択できる能力

薬剤の臨床薬理を理解し、治療効果をアセスメントしながら適切な薬剤を選択できる能力を獲得する

4 臨床判断能力

エビデンスに基づいた症候アセスメントを行い、臨床判断能力を高める

5 リーダーシップ能力

チーム医療の一員となり調整するためのリーダーシップ能力を実践の場で身につける

6 マネジメント能力

ヘルスケアの質向上に寄与するマネジメント能力を統合する

7 患者中心の医療を実践する能力

適切な医療者-患者関係を構築し、患者中心の医療を実践する能力を身につける

8 医療倫理に基づく判断と実践能力

医療者として常に求められる倫理的問題に対する感性を高める

9 自己研鑽していく能力

生涯学習者として常に学習し、自己研鑽していく能力を求める

取得学位および認定資格

- 修士号(看護学)
- 特定行為研修修了証(21区分38行為)
- 診療看護師(NP)認定試験受験資格



Curriculum Policy

1年次の授業は、基本的に東京赤坂キャンパスでの対面授業(一部オンライン)です。年に数回、成田キャンパスに赴き、臨床検査研究室での微生物検査(グラム染色など)実習、医学部棟での解剖学実習、法医学実習などがあります。

2年次は、臨床能力評価(OSCE)合格者が720時間(およそ5か月)の臨床実習を行い、その中で経験した10症例をとりまとめて考察し、課題研究として論文化します。

入学	基礎臨床科目	専門科目	(客観的臨床能力試験) OSCE	統合科目	課題研究論文発表発表会	大学院修士課程修了	NP教育大学院協議会認定試験
	臨床病態生理学Ⅰ・Ⅱ 臨床推論Ⅰ・Ⅱ フィジカルアセスメントⅠ・Ⅱ 臨床薬理学Ⅰ・Ⅱ 疾病・臨床病態概論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 解剖学・尸体解剖実習	呼吸管理Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 循環管理Ⅰ・Ⅱ 栄養管理Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ ドレーン管理Ⅰ～Ⅳ 診断基準と薬物療法Ⅰ～Ⅴ 感染特論・感染各論・臨床微生物検査実習 創傷管理 術後疼痛管理 透析管理 法医学・法医学解剖実習		特定行為を含む臨床実習			
	医療安全 特定行為実践Ⅰ・Ⅱ	研究法					
	1年次前期	1年次後期～2年次前期		2年次後期			



本分野の特長

働きながら学べるカリキュラム

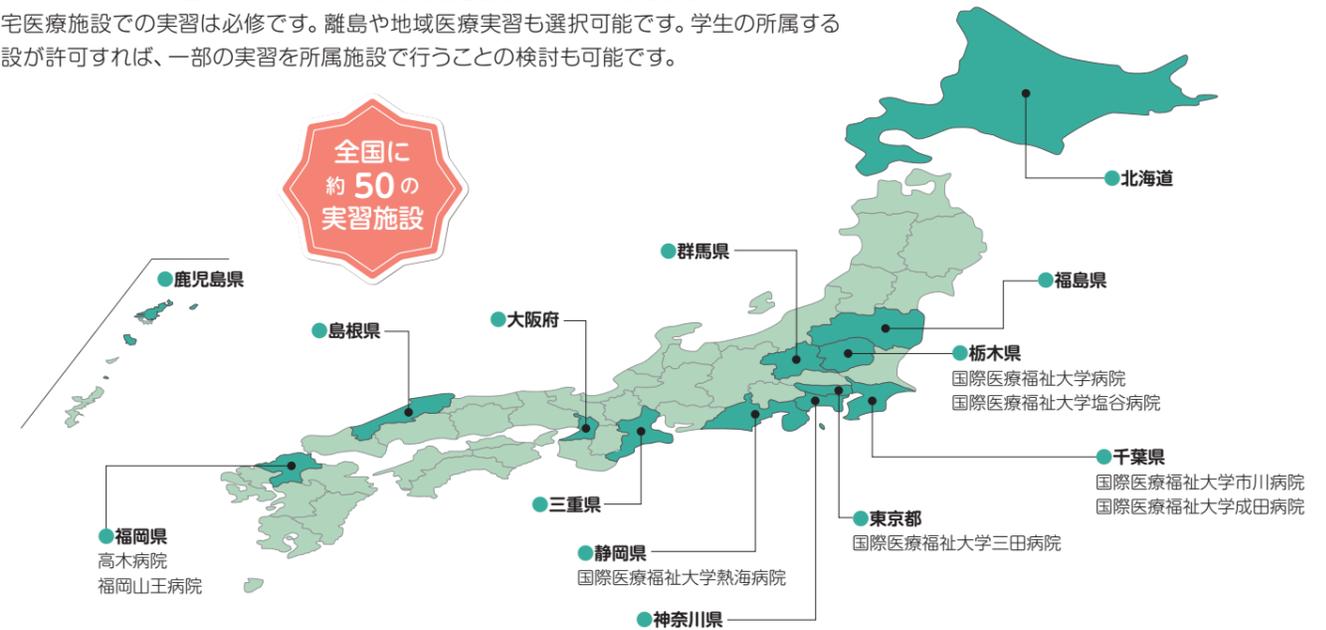
1年次の授業(ピンク部分)は、毎週木金土で構成されており、それ以外は、働くことが可能です。

日	月	火	水	木	金	土
				13:00~ 21:15	9:00~ 21:15	9:00~ 19:30



豊富な実習協力施設

臨床実習は大学病院の救命救急センター、地域の病院や在宅クリニックなどで実施します。実習施設は以下に記載の本学の附属・関連病院をはじめ、全国に約50施設用意しています。実習場所は、学生のビジョンに合わせて希望をとり、全体で調整します。在宅医療施設での実習は必修です。離島や地域医療実習も選択可能です。学生の所属する施設が許可すれば、一部の実習を所属施設で行うことの検討も可能です。



充実した指導体制

- 大学院教員をはじめ、グループ関連病院の専門医や医学部教員による医学の講義、演習が充実。
- NP教育大学院協議会理事長、NP学会会長、修了生によるNPの実践に関する基調講演。
- プライマリケア・クリティカルケア両領域の修了生教員とClinical Engineerの手厚いサポート。

詳しくは、大学院ホームページをご参照ください。

https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/faculty/health_welfare/nurse_p/



出願について

■ 出願資格

- ① 日本での看護師の臨床経験5年以上
- ② 2年次の臨床実習に休職できる者
- ③ 組織などの他者の推薦状が必要
- ④ 分野教員との事前面談が必要

※専門学卒卒は、書類で資格審査を実施します。
※事前面談の日程調整は下記までご連絡ください。

分野責任者 栗田 康生 Email: kurita-yasuo@iuhw.ac.jp

■ 入学試験(定員25名前後)

- ① 書類審査
- ② 筆記試験
- ③ 小論文
- ④ 面接

